

# 議会だよりの善入

GIKAI

DAYORI

NYUZEN

No. 189

2019年4月27日

目次 みんな仲良く1年生(上青小学校)

全小中学校にタブレット配備 … 2P

移住・定住に新メニュー  
(常任委員会レポート) … 6P

特集! 介護人材確保に向けた取組み … 18P

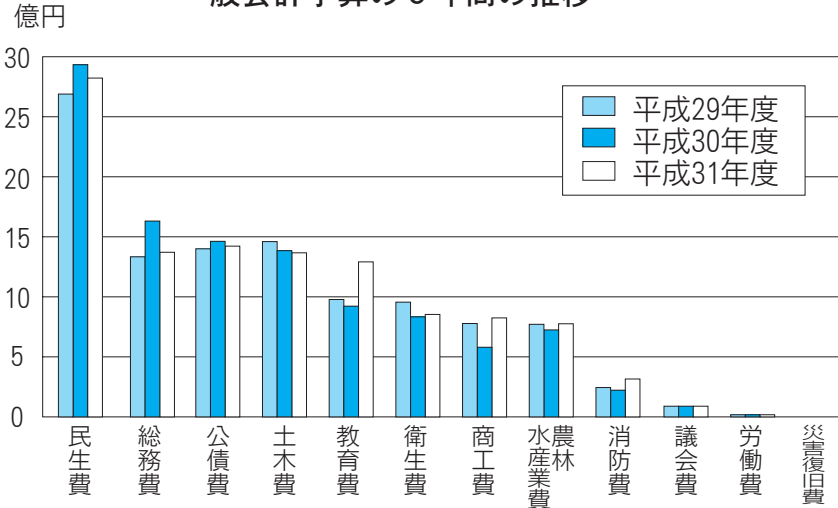
3月  
定例会

じゅわ〜と  
にゅぜん



# 新学習指導要領実施に向け 無線LAN・タブレット端末整備

一般会計予算の3年間の推移



## 新年度予算の特徴

3月定例会は5日から22日までの18日間開会され、町長から提案された平成31年度の一般会計予算と特別会計予算5件、平成30年度補正予算5件、条例の一部改正など9件を審議し、すべて可決した。  
また、固定資産評価審査委員会委員、副町長の選任について同意したほか、下山用水組合議会議員の選挙を行った。

一般会計 110億6千万円  
特別会計 45億8千万円（5会計）

新年度の一般会計当初予算は、前年度より1・4%の増となり、19年ぶりに110億円を超える大型予算となった。  
前年度に引き続き、「ストップ人口減少」に関する施策が重点化された。  
増額の要因は、町内に新たな企業が誘致されたことに伴う用地取得費や全小中学校で無線LANとタブレット端末を整備することなどによる。

## ストップ人口減少！ 新たな一歩を踏み出す予算

### (1) 子どもを産み育てやすい環境づくりによる「出生数の増」

- ・ 集団お見合い会の開催など、継続して出合いのサポートを行う。 878万円
- ・ 3歳以上児の保育料に加え、町独自の施策として給食費も無償化とする。 6082万円
- ・ 医療費全額助成の対象を高校3年修了時まで拡充する。 7738万円

### (2) 健康寿命の延伸による「自然減の抑制」



カローリング大会  
(ねんりんピック)

- ・ 町民の健康づくりを推進するため全国カローリング大会を開催する。 600万円
- ・ 住民主体の介護予防や高齢者の通いの場づくり推進のため、いきいき100歳体操の普及を行う。 62万円
- ・ 中央公園のテニスコート改修工事や屋内多目的施設の設計などの計画を進める。 2億7917万円

### (3) 1ターンのやUターンの促進と地域活性化による「社会増」

- ・ 舟見、野中地域で新たに居住する、小学生以下の子どもを養育する世帯に支援する。 2150万円
- ・ 企業立地や中小企業の設備投資促進のため、雇用種別や人数の要件を緩和し支援する。 1億6768万円
- ・ 移住定住フェアへの参加などに加え、町外在住の縁故者へ町の情報などを発信し移住者の掘り起こしにつなげる。 151万円

## その他の主な予算

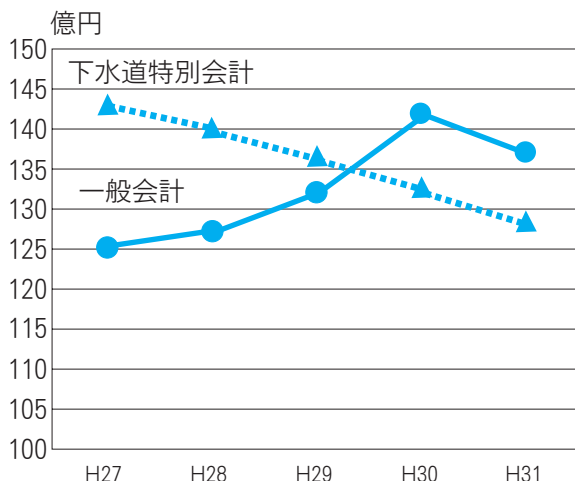
- ・ 出産準備ギフトボックスの贈呈や母子手帳アプリの導入など、安心して出産・育児ができるよう支援する。 262万円
- ・ 総合体育館周辺をメイン会場とし、県と合同で総合防災訓練を実施する。 186万円
- ・ 新学習指導要領の全面实施に向け、全小中学校に無線LANおよびタブレット端末を整備する。 3103万円
- ・ 耐震基準を満たしていない庁舎の整備に向けた基本構想を策定する。 707万円
- ・ 緊急車両の通行改善に向け、市街地の幅員が狭い道路を整備する。 860万円
- ・ 扇状地の魅力を伝える映像コンテンツが体験できるVRミニシアターを整備する。 494万円
- ・ 消費税率引き上げによる影響を緩和するため、国の100%補助を受け、低所得者や子育て世帯に対しプレミアム付商品券を発行する。 3170万円

## 条例の改正

- ・ 入善町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
- ・ 入善町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正
- ・ 入善町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ・ 入善町定住促進住宅条例の一部改正

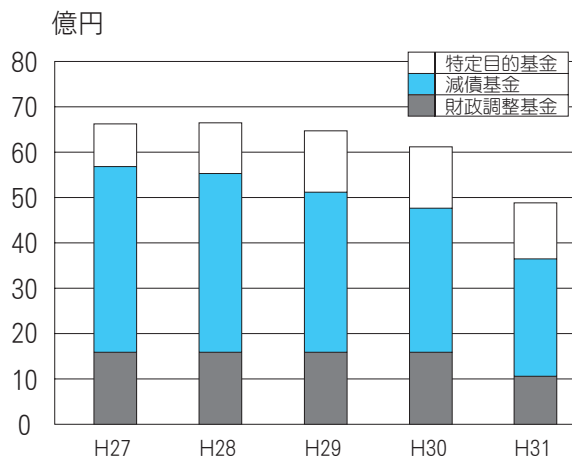
賛成全員で可決

## 一般会計と下水道会計の借金残高



借金残高・基金残高ともに平成30年度、31年度は見込み額

## 一般会計の基金残高



財政調整基金：将来への財源不足を補うための貯金  
減債基金：借金の償還に充てるための貯金  
特定目的基金：特定事業のための貯金

## ◎町の貯金と借金

## 討 論

平成31年度一般会計予算  
平成30年度一般会計補正予算第5号

### 反対討論

井田 義孝 議員

子育て支援や健康寿命の延伸、U・Iターンで地域活性化というが、児童保育は大人数を一部屋へ詰め込んでいる。婚活や介護予防もこれまで通りで不十分だ。住民要望の多い道路修繕費が23%も減らされている。企業に3億7千万円も支援するなら農業へもっと支援すべきだ。一方で、運動公園改修など普通建設費は昨年より5億円も多い。借金も142億円になり過去最高水準で土木中心の従来型予算だ。大型事業が集中しないよう計画的に行うべきだ。また、30年度補正予算は財源見通しのない小学校改修が含まれており賛成できない。

### 賛成討論

中瀬 淳哉 議員

新年度予算では、婚活事業や子育て支援、移住・定住施策など、これまでの着実な歩みをさらに進め、人口減少の改善につなげていこうとする町当局の強い意志が感じられる。

また多岐にわたり、新たな施策にチャレンジしていく姿も見受けられる。

そして、限られた財源を最大限活用するため、経常経費の抑制や事務事業の見直しとともに、国や県からの交付金などで、できる限りの財源を確保しようとしている。

近年、近隣市町でも財政難が表面化しており、健全財政を堅持して将来に少しでも負担を残さないようにしている当局の姿勢を高く評価したい。

## 平成30年度

### 3月補正予算を可決

#### 一般会計

5億7956万円を増額し、  
総額124億7312万円とする。

## 主な事業

○総合体育館管理運営費 2億9600万円  
総合体育館の空調設備および天井の耐震改修  
工事費を計上する。

○担い手育成対策事業費 688万円  
農事組合法人の農業機械導入に対し、国から  
の補助金を計上する。

○感染症予防事業費 216万円  
抗体保有率を高めるための風しんの予防接種  
に関する国の追加対策に伴い、健康管理シス  
テムの改修費を計上する。

賛成多数で可決

・国民健康保険特別会計  
1億4615万円を増額

・簡易水道特別会計

450万円を減額

・下水道特別会計

4942万円を減額

・後期高齢者医療特別会計

3290万円を増額

賛成全員で可決

## 工事契約を議決

5000万円を超える公共工事の請負契約に  
ついて可決した。

○飯野統合保育所(仮称)整備事業

建築主体工事請負契約

請負者 株式会社 飯作組  
請負金額 4億9680万円

○飯野統合保育所(仮称)整備事業

給排水衛生設備工事請負契約

請負者 西川管機 株式会社  
請負金額 5022万円

○飯野統合保育所(仮称)整備事業

電気設備工事請負契約

請負者 株式会社 米澤電気商会  
請負金額 5681万円

## 入善町固定資産評価審査 委員会委員の選任

3月19日で任期満了となる委員に、上野和博  
氏を引き続き選任することに同意した。

(任期は3年)

上野 和博氏(小杉)

## 入善町副町長の選任

3月31日で任期満了となる副町長に、梅  
津將敬氏を引き続き選任することに同意し  
た。

(任期は4年)

梅津 將敬氏(今江)

## 下山水組協議会議員の選挙

3月31日で任期満了となる下山水組合  
議会議員を選挙した結果、次の6名が当選  
した。

(任期は4年)

袖野 伸司氏(墓ノ木)

金森 昇氏(下山)

坪野 和夫氏(下山)

西島 彰男氏(小杉)

吉原 有二氏(藤原)

谷 正和氏(古黒部)



造成中の保育所用地

## 3月議会の議決状況

議案番号		氏名												
		鍋嶋慎一郎	鍵田昭	池原純一	井田義孝	本田均	中瀬淳哉	田中伸一	五十里忠茂	五十里国明	野島浩	松澤孝浩	松田俊弘	元島正隆
議案第1号	平成31年度入善町一般会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第2号	平成31年度入善町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	平成31年度入善町簡易水道特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	平成31年度入善町育英奨学資金特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	平成31年度入善町下水道特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	平成31年度入善町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	平成30年度入善町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第8号	平成30年度入善町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	平成30年度入善町簡易水道特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	平成30年度入善町下水道特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	平成30年度入善町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	入善町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	入善町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	入善町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	入善町定住促進住宅条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	公の施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	町道路線の認定及び変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	飯野統合保育所(仮称)整備事業 建築主体工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	飯野統合保育所(仮称)整備事業 給排水衛生設備工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	飯野統合保育所(仮称)整備事業 電気設備工事請負契約について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
同意案第1号	入善町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案第2号	入善町副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
選挙第1号	下山用水組合議会議員の選挙について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「—」除斥のため採決に加わらず。

※除斥…審議の公正を期すため、一定の利害関係を有する議員は、その審議に加わらない制度。

# レポ ー ト

## 総務 常任委員会

県との合同防災訓練は単なるイベントとにならないように

**Q** 県の合同総合防災訓練が町で予定されているが、福祉避難所開設訓練は含まれているのか

**A** 9月29日に予定されており、町村においてメイン会場になるのは県内初だ。

福祉避難所開設訓練も



住民が多く参加した町防災訓練(平成26年度)

含め、詳細はまだ決まっていないが、津波への対応は必須となっている。

**Q** イベントと捉えるのではなく、住民が積極的に参加してもらえようようにしてほしい。

また災害の際、実際に役に立つような訓練にしてほしい。

**A** しっかりと考えていきたい。

フィールドミュージアム構想の常設シアターとは

**Q** 黒部川扇状地フィールドミュージアム事業の常設シアターを整備するとしているが、新たな施設を作るのか。

また、何カ所を想定しているのか。

**A** 新たな施設ではなく、既存の公共施設で映像コンテンツを見ることが出来る場所を1カ所整備する。

VRカメラ用マスクを10個程度とテレビや再生機などを整備する。

**Q** フィールドミュージアム構想を発表して3年経過するが、進捗状況が分からない。今後どうなっていくのか。

**A** 庁舎整備もあるため、中核拠点施設の整備は一旦ストップした。目指している方向は決まっているので、地道に進めていきたい。

介護施設でのボランティア活動でポイントを付与

**Q** 介護サポーターポイント事業の内容は。

**A** 町内の介護施設でボランティア活動を行う場合にポイントを付与し、上限5千円の商品券に交換する事業だ。

**Q** 在宅お助けワンコインサービス事業の内容は。

**A** 高齢者のちよつとした困り事をワンコイン(500円)で引き受け、暮らしの手伝いをす

るもので、事業主体はシルバー人材センターだ。その二つの事業は、介護をするきつかけづくりになる良い事業だ。介護サポーターポイント事業では、活動者を何名ほど確保したいと考えているのか。

また、介護施設にどのよう振り分けるのか。

**A** 200名程度確保したいと考えている。施設に必要な人数や、してもらいたいことなどをヒアリングしてマッチングしていきたい。

**Q** ワンコインサービス事業では、高齢者が高齢者の暮らしを手伝いすることだが、対応できるのか。

**A** ゴミ出しや電球の交換など、簡単な仕事なので大丈夫だ。

**Q** シルバー人材センターの会員の現状は。

**A** 企業の定年が延長されるなどで、なかなか会員は増えていない。

3歳以上児の保育料の無償化

**Q** 3歳以上児の保育料を無償にするのとこのだが、3歳未満児についてはどうするのか。

**A** 3歳未満児についてはこれまで通りだ。

新婚世帯の新居入居に支援 20組が利用

**Q** 新婚世帯住居費等支援事業の内容と、平成30年度の実績は。

**A** 新婚世帯の新居の入居に係る初期費用や引越し費用に上限30万円が助成するものだ。平成28年度から実施しており、所得制限はない。

平成30年度は20組の新婚夫婦が利用した。その中には、町外同士の夫婦もあり、移住定住にも効果があると思っている。

# 常任委員会

## 産業教育 常任委員会

新規事業に取組む県  
営農地整備事業費を  
計上

**Q** 農地整備事業費、5  
50万円の内容は、

**A** 入善北部地区で用排  
水路の改修を行う県  
営の新規事業だ。

新年度は、用排水路の  
測量設計や用地測量を委  
託する。事業費は5千万  
円で町の負担は550万  
円だ。

入善高校農業科によ  
る新しい栽培研究に  
10万円の補助

**Q** NEW農チャレンジ  
事業10万円の内容は、

**A** 入善高校農業科に、  
入善ジャンボ西瓜を  
研究用として10株程度栽  
培してもらう。

新たな栽培方法として、

労働力の軽減や連作障害  
の解消、水耕栽培、ハウ  
ス栽培を模索していく。

公園整備事業費とし  
て設計委託料を計上

**Q** 中央公園の改修設  
計委託料1510  
万円の内訳は、

**A** テニスコート改修  
の搬入路として、  
ふれあい広場と現駐車場  
の間にある通路部分の設  
計に600万円計上した。

屋内多目的施設の周辺  
整備の設計分に700万  
円、ふれあい広場にある  
老朽化した井戸の更新調  
査と設計で210万円だ。



改修予定の中央公園

移住・定住に新メ  
ニュー登場

**Q** 新年度の安心移住  
プロジェクトの方  
向性は、

**A** 東京、大阪で開催し  
た移住相談会に訪問  
された方にダイレクトメー  
ルで案内を送付する。

移住体験希望者には、  
2月オープン体験住宅  
も活用してオーダーメイ  
ド対応していく。

空き家バンクの登録  
累計104件

**Q** 平成30年度の空き家  
バンクの登録件数は  
どうか。

**A** 登録件数は、空き家  
が17件で空き地が4  
件ある。

平成24年度から累計1  
04件の登録があり、48  
件が契約済みだ。

**Q** 48件はすべて賃貸  
なのか。  
**A** 賃貸が18件で購入



移住体験住宅

が30件だ。  
新たな登録に向けて、  
各地区の区長などに協力  
していただいている。

ALTTが2名から3  
名に増員

**Q** ALTT(外国語指導  
助手)を2名から3  
名に増員するが、町独自  
の考えか。

**A** 町が判断したもの  
で、小学校で3〜  
6年生のすべての英語授  
業をALTTが指導できる  
ように増員する。

**Q** ALTTの資格はど  
うなのかな。  
**A** JETプログラム  
(語学指導などを行  
う外国青年招致事業)に

応募して資格認定され  
た者だ。

入善漁港内の耐震診  
断を実施

**Q** 漁港施設機能の診断  
調査をするところだが、  
その内容は、

**A** 平成30年度は、長寿  
命化計画で護岸や離  
岸堤の調査を行った。

新年度は、入善漁港が  
地震・津波に耐えられる  
かを機能診断する。

### こんな意見も

◎フラワーロードの開催  
では、なるべくほ場が集  
約するように地権者に理  
解を求めているかどうか。



建て替え予定の役場庁舎

これまで検討してきた庁舎整備の内容は

町長 候補地を10カ所程度選定し さらに絞り込み作業を行っている



松澤 孝浩 議員（アクセス）

問 町長は昨年の12月議会、庁舎は建て替えによる耐震化の方向で整備すると表明した。

これまで当局が検討し

てきた庁舎整備の内容を町民に示すべきと考えるかどうか。

笹島町長 本年1月、関係課の職員で検討委員会を設置した。

これまでに3回の会議を開催し、新庁舎の候補地の選定を検討した。

候補地と見込まれる場所として、現在地を含め10カ所程度を選定した。

町民の利便性や防災拠点としての適性、まちづくりの推進、必要なスペース確保などの観点から検討した。

現在は、候補地の絞り込みに向け、メリット・デメリットの点数化作業を行っている。

それらの経過などについては、まず議会に報告したい。

庁舎整備の財源確保は町の基金と国の有利な起債がある

問 タイムスケジュールや財源確保などの課題と見通しを示せ。

町長 町では庁舎整備に備えて、公共施設等整備基金などに積み立てている。

庁舎の建て替えには国の補助制度はないが、交付税措置がある有利な2つの起債事業がある。一つは公共施設の適正

管理にかかる起債事業である。この事業は、平成32年度までに実施設計に着手することが適用条件だ。

もう一つは緊急的な防災対策に関する起債事業で、平成33年度中に整備完了しなければならない。

これらを念頭に、新年度では庁舎整備の理念や方針、規模や機能、耐震工法や事業スケジュールなど、基本的な考え方をまとめた庁舎整備基本構想の策定に着手していく考えだ。

現在のペースでの検討で間に合うのか  
タイトなスケジュールを強いられる

問 新たな候補地を取得する場合、さまざまな手

続きが必要になる。

有利な起債事業を考えると、現在のペースでの検討で間に合うのか。

町長 新たな候補地を取得する場合、農地が中心になることから土地収用法などを踏まえ、いろいろな手続きが発生する。

農振除外や農地転用、税控除などさまざまな手続きには、少なくとも8カ月から10カ月の期間が必要と考える。

有利な2つの財源を併用し活用したいが期間が限られている。時間的に余裕のないタイトなスケジュールを強いられるのが現状だ。

間に合うよう努力するが、今後もこれまで以上に国に制度の延長を強く求めている。



下水道の赤字で35%も使用料を上げるのか  
一般会計からの繰り入れで住民負担は避けよ

町長

健全経営のために応分の負担を  
していたただくのはやむを得ない

**問** 下水道会計は5年後には赤字になり、18年後の累積赤字は25億円に上る。町は、使用料の値上げで対応している

が、そうすれば35%以上の値上げが必要となる。

赤字の原因には、加入率の過大見積りや施設の更新の見落としなどに加え、町の財政運営方針の転換もある。

町が平成14年に示した計画では、平成23年から20年間、毎年8千万円を一般会計から基準外繰り入れを行うはずだった。

しかし、現在の繰り入れ額は3千万円で、20年間で10億円の減になる。勝手な変更は許されない。

**竹島企画財政課長** 8千万円は基準内の繰り入れだと思ふ。下水道は独立採算制が原則であり、一般会計からほとんど基

準外の繰り入れはすべきでない。

**問** 平成14年に計画した8千万円の繰り入れは明らかに基準外だった。

国交省の調査では、全国の自治体の7割が基準外繰り入れを行っている。

町の一人・二人暮らしの使用料は県内で最も高く、大幅な値上げで選択される町となるのか。

町の一般会計には自由度の高い基金が約55億円もある。一般会計からの繰り入れで住民の負担増は避けるべきだ。

**町長** 健全経営のために、利用者全体で応分の負担をしていたことはやむを得ない。

避難路などの危険、ブロック塀の改修支援を

国の支援制度の立ち上げを受け検討したい

**問** 町は、魚津断層帯を震源とする地震により、最大で震度6弱の揺れを想定している。

国交省は今年になって、避難路や通学路沿道のブロック塀などの耐震診断や除去・改修に、国と市町村がそれぞれ3分の1ずつ支援する制度を設けた。

町も制度を活用し、住民の危険なブロック塀対策に支援すべきだ。

**町長** 昨年の事故を受けブロック塀のことが議論になっている。町として学校施設などで対応した

経緯がある。制度を設ければ個人負担も付いて回り周知が必要だ。

国の制度の立ち上げを受け十分検討したい。

**問** 県は一昨年、10・2mの津波が、地震発生後7分で町に到達するとの想定を発表している。

町は沿岸地域で津波防災ワークショップを開催してきたが、そこで出された課題について、今後どのように把握し防災対策に生かしていくのか。

**神子沢総務課長** いざというとき、どこを通って避難するか、その際に想定される問題点などを話し合ってもらった。

今後、避難経路地図や課題などをとりまとめ、津波防災施策に生かしていきたい。



入善浄化センター



松田 俊弘 議員 (日本共産党)



収入に対して負担が大きい国民健康保険税

## 高すぎる国民健康保険税 子どもの均等割減免を 課長 保険福祉 税負担の公平性から難しい



井田 義孝 議員

**問** 国民健康保険は、いまや高齢者や無職、非正規労働者など、収入の少ない人の健康保険となっている。

さらに世帯全員にかかる均等割、世帯ごとにかかる平等割があることや、協会けんぽと違い、事業者の半額負担が無いので税額が著しく高額だ。

全国知事会は、国が1兆円を投入して保険料を引き下げるよう求めた。1兆円あれば均等割、平等割を廃止できる。町も求めるべきだ。

**真岩保険福祉課長** 国保には、収入に対し保険料負担が大きいという構造的な問題がある。

持続可能とするため、負担と給付が公平となるような医療制度の改革が必要だ。

町村会でも医療制度の

一本化や財政支援を要望している。

**問** 南相馬市や白河市のように、当町も子育て支援として、子どもの均等割を減免すべきだ。

**真岩課長** 国の支援制度が無い中、子育て世帯のみを減免するのは税負担の公平性から難しい。

**乗合タクシーの予約改善は  
善は  
新年度に予約体制を強化**

**問** 予約が取れない乗合タクシーの改善について、当局は、受付体制の改善やシステム運用の変更などで対応すると答えてい

たがどうなったか。

**梅澤キラキラ商工観光課長** 新年度は、複数人・複数回線で受付体制がとれるよう第三者機関に委託する。

また、町が事業主体となり委託運行に切り替える。

**問** 委託することだ。住民への福祉として委託料を大幅に引き上げてでも改善すべきだ。

**梅澤課長** 福祉という側面はあるが、公共交通は町民の足でもあり、町の経済循環の一環だ。

**連携排砂量が膨大に  
海洋生物学的調査を  
改善に向け適切に意見を述べていく**

**問** 平成29年度は連携排砂がでなかつた。そのため昨年は2回にわたり、150万㎡が排

砂された。これは環境への負荷が小さいとされる量の5倍だ。

環境調査で濁りが過去最大値を記録したが、排砂評価委員会は「従来の観測値と比べて大きな影響はない」としている。

海面漁協とともに、海洋生物学的調査を求めていくべきだ。

**窪野建設課長** 新年度はこれまでの底生動物調査データを基に、生物学的観点からの分析を提案すると聞いている。

**問** 近隣首長や漁業関係者、県の農林水産部も改善を求めている。

町長が参加している土砂管理協議会は重要であり、排砂方法の改善を強く訴えるべきだ。

**町長** これまでも意見を述べてきた。よりよい排砂に向け今後も適切に意見を述べていく。

学校無線LANとタブレット端末の  
整備タイムスケジュールは  
教育長 10月の稼働を目標に整備したい



教員のタブレット端末研修会

**問** 新年度予算では、学校無線LAN・タブレット端末整備事業として3100万円余りが計上された。整備のタイムスケ

ジュールは。

また、タブレット端末の配備が、各学校1クラス相当分なのはなぜか。

**小川教育長** 新学習指導

要領では、学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実を図ることが明記されている。

その対応として、全小中学校の普通教室における無線LAN整備とタブレット端末を配備する経費を計上した。

夏休みに無線LAN整備に取り掛かり、10月の稼働を目標に整備していきたい。

また、タブレット端末の台数については、学校からの意見と学習場面を

考慮してのことだ。

**問** どのような教材を取り入れるのか。

**教育長** タブレット学習

には、プログラミングを楽しく学べる教材として「ロボット」を導入する予定だ。

これにより、多様なプログラミングができ、夢のある学習が展開できると考えている。

**問** 新年度予算では、やはり野小学校の2、3学年が複式学級となるため、さまざまな支援を計画している。

そのような支援と合わせて、児童一人一台のタブレット端末を配備するなど、教育ICTのモ

デル校にはどうか。  
**教育長** 研究していきたい。

**狭あい道路6路線** どの路線を整備するのか  
**市街地の10数路線の中から今後検討する**

**問** 町は、市街地の狭あい道路における緊急車両の通行改善などに向けた環境整備を行うとしている。

これは、都市再生整備計画により整備するものだが、計画は完成したのか。

**竹島企画財政課長** 立地適正化計画に掲げる事業を推進し、中心市街地の活性化を図るため、その財源となる交付金の活用

に向け、都市再生整備計画の作成を進めている。  
・緊急車両などの通行に支障のある狭い道路の解消による住環境の改善

・公共交通の結節拠点である入善駅周辺整備  
・空き家を活用したチャレンジオフィス・サテライトオフィスの整備

などを盛り込んだ計画書の素案を作成し、国や県との協議を進めている。

**問** 狭あい道路6路線を測量設計するとしているが、どの路線か。

**窪野建設課長** 市街地では、軽自動車でも通行が厳しく、緊急車両などが通れない幅員の道路が10数路線あると捉えている。対象路線については、今後検証の上、決定する。



中瀬 淳哉 議員



黒部川扇状地

黒部川扇状地フィールドミュージアムの理念は  
町長 地域への誇り・愛着の醸成  
地域産業の活性化を目指す



五十里 忠茂 議員

問 黒部川扇状地フィールドミュージアムの基本理念はなにか。  
また、事業計画や今後のタイムスケジュールは

どうなっているのか。

町長 黒部川扇状地フィールドミュージアム構想とは、黒部川扇状地全体を博物館とみなし、町をまるごとフィールドミュージアムとして整備しようとするものだ。

この構想は、「水」を中心テーマとして、住民が主体となって地域資源を生かしたまちづくりを進めることだ。

平成29年度に策定した基本計画には、地域への誇り・愛着の醸成、地域コミュニティや地域産業の活性化を目指すことを明記した。

また、基本計画においては、中核拠点施設を設

置し、その施設内のナビゲートシアターで最新の映像技術を用い、入善の恵まれた水環境などを分かりやすく紹介する。そのため映像コンテンツを3本制作することとしている。

平成30年度は1本目の映像コンテンツを制作している。新年度では、2本目の映像コンテンツの制作を継続していきたいと考えている。

なお、中核拠点施設の整備には、いましばらくの時間が必要だ。

したがって現在、制作している映像コンテンツを体感できる常設シアターを、エリア拠点施設とな

る既存の公共施設に設置することとし、映像コンテンツの制作を進めていく。

フィールドミュージアムの拠点施設の整備は計画を進めてきたが整備を繰り延べする

問 フィールドミュージアムの中核拠点施設の整備について、どのように考えているのか。

町長 中核拠点施設については、平成30年度、中核拠点施設基本計画の策定を行ってきた。この計画の中で、候補地の評価、施設規模の検討、施設機能の具体化を進めてきた。施設の規模は、町内の小学生が校外学習で活用することを想定し、60人

程度が利用できる規模として設定した。

また、展示レイアウトや展示物のイメージ化を進めるとともに、施設の規模も考慮して5つの候補地について評価を進めてきた。

しかしながら、今後、庁舎の建て替えなど大型のハード事業が続くことなどもあり、総合計画の実施計画においては、中核拠点施設の整備を繰り延べすることとした。

今後、中核拠点施設の整備に取り組む段階においては、それらの状況の変化も十分に考慮して、候補地を再検討するなど、基本計画を柔軟に見直すことも必要であると考えている。

新庁舎に複合的な機能を持たせる考えはないか

町長 必要であれば検討したい

**問** 新庁舎の計画に、複合的な機能を持たせる考えはないか。

**町長** 近年、民間機能を持たせた複合的な庁舎を



現役場庁舎

整備した事例がある。

豊島区では、マンションや商業施設との複合庁舎を整備している。奈良県内では、ホテルとの複合庁舎の事例もある。

いずれも、自治体財源の大幅な削減を目的として民間を活用している。

本町における新庁舎の機能などの検討については、新年度で「(仮称)庁舎整備基本構想策定委員会」の中で協議・検討していく。

庁舎機能については、執務機能をはじめ、窓口機能や議会機能、駐車場機能などの根幹的機能がある。また、災害対策機能や来庁者の利便性に配

慮した機能なども含め、それらの是非を協議していく。

そして、庁舎に商業・金融的機能など、民間活用といった手法も必要があれば検討していく。

**下水道使用料の改定の見直しは**

**平成31年度中の改定は行わない**

**問** 財源不足による下水道使用料の改定の見直しはどうか。

**米田住まい・まちづくり課長**

これまで、経費削減に努めつつ、支援制度の活用などを行い、一定の経営改善を図ってきた。

今後は起債償還額の増加や人口減少、さらに下水道処理施設の更新費用の増加が見込まれることから、財政状況は依然として厳しい状況にある。

さらなる経営改善に取り組んでいくものの、下水道使用料の改定は避けられない。

今後は、決算状況や財政見直しについて、検証を深めたい。

下水道使用料の改定時期については、新年度は見送り、消費税改定分のみを反映させる。

**町の高齢化率と介護施設整備への支援は**

**65歳以上の高齢化率は34・8%**

**問** 人口に占める65歳以

上の高齢化率はどうか。

また、既存の介護施設への支援をどう考えているのか。

**真岩保険福祉課長** 高齢化率は、平成30年10月末で34・8%となっている。

また、高齢者人口の増加とともに、要支援・要介護認定者も増加しており、同月現在1692人である。

施設数に関しては県内でも恵まれているが、どの施設も満床状態である。既存施設への設備支援は、国・県などの活用可能な補助制度はほとんどない。

各事業所において、修繕費など計画的に、積み立てて対応していただきたい。



本田 均 議員



西入善駅西側の新村踏切

## 飯野小学校の通学路の整備はできないか 建設課長 地権者の同意が必要だ



鍵田 昭 議員

**問** 飯野小学校の通学路の安全確保として、一般県道小摺戸芦崎線の歩道整備はできないか。

**窪野建設課長** 地元で沿

線地権者の同意をとりまとめ、町を通じて県へ要望書を提出する方法を検討してもらいたい。

**問** あいの風とやま鉄道新村踏切の歩道整備はどうか。

**窪野課長** 国は、平成28年4月に踏切道路改良促進法の改正を行った。

平成31年2月には、新村踏切も法指定された。

この踏切は、道路管理者の町とあいの風とやま鉄道で計画協議を進める必要がある。

その後、踏切道路改良計画書を国土交通大臣へ提出し、平成32年度までに計画認定を受ける必要がある。町としても、早

期に着工できるよう強く働きかけたい。

**問** 通学路にある耐震不良のブロック塀の改修費用を補助できないか。

**米田住まい・まちづくり課長**

県では、ブロック塀の補強や除去などに係る費用を無利子で融資する制度がある。

町では、まずブロック塀の安全対策の啓発を継続していく。

**問** 通学路に防犯カメラの増設を考えてはどうか。

**神子沢総務課長** 関係機関と連携し、通学路の安全確保に取り組んでいく。

防犯カメラも選択肢の一つとして検証していきたい。

町の防災士の現況は  
養成した防災士は34人  
だ

**問** 近年、いっどこでどのような災害が発生するか分からない。災害を想定し対策していく必要がある。

町の防災士の現況はどうか。

**神子沢課長** 町の事業により養成した防災士は34人で、スキルアップを図るため毎年研修会を開催している。

**問** 防災行政無線のデジタル化で、今の防災ラジオは使えるのか。

**町長** 2022年12月以降は、アナログ電波が使用できなくなる。

国による何らかの動きがあると思うが、町では対策を検討している。

町のひきこもりの現状と対策は  
当町にも一定数の方が  
いると認識している

**問** 当町でのひきこもりの状況と対策はどうか。

**小林元気わくわく健康課長** 実態については、人数の把握などのデータはないが、当町にも一定数の方がいると認識している。

町でも、保健センターで家族からの電話相談や来所相談を受け付けている。

**問** 町内企業の障がい者就労はどのような状況か。

**梅澤キラキラ商工観光課長** ハローワークで調査・把握しているが、内容は非公開となっている。町では把握できていないが、町内企業などに雇用を働きかけたい。

# 体育館大規模改修・中央公園改修事業の見通しは

## 住まい・まちづくり課長

### 財源を国・県に要望していく

**問** 総合体育館大規模改修事業と中央公園改修整備事業の見通しはどうか。また、全体の事業費はどれくらいになるのか。



改修予定の中央公園周辺

**米田 住まい・まちづくり課長** 中央公園整備事業は、公園利用者の利便性向上を目指すもので、平成28年度からの5カ年計画だ。公園整備は、測量や設計、さらには山側駐車場を含む整備に約1億6200万円としている。現在進めている海側駐車場は用地費も含め約1億9400万円だ。

新年度に完了を見込んでいる体育館の整備については約6億7400万円、工事着手見込みのテニスコートの改修については、約1億7700万円としている。これらを合わせて約12億700万円である。

公園整備事業ではさらに、ふれあい広場や屋内

多目的施設の整備計画があり、国の交付金を活用しながら進めていく。過大な整備とまらないよう留意し、引き続き国・県に要望し、財源の確保に努めていきたい。

町独自のサイクリング構想は、扇状地独特のダイナミックコースを発信

**問** 町独自のサイクリングロードを将来構想として示すべきではないか。

**梅澤キラキラ商工観光課長** 町内に設置されているサイクリングコースは、

県が設定した富山湾岸サイクリングコースとにかかわる観光圏が設定したものがあ。にいかわ観光圏が設定したコースは、2市2町をぐるりと周遊するコースと各市町の特徴を生かした個別ルートがある。

当町における個別ルートでは、愛本橋から入善海洋深層水パークまで、黒部川扇状地の自然勾配を体感しながら下っていくコースだ。

今後、広域での取組みで、サイクリングコースの魅力を発信し、認知度を高めていきたい。

全国規模で開催するカロリング大会運営は県内外80チームを限度とする

**問** カロリングの町民への普及状況はどうか。また、全国大会をどう運営するのか。

**板倉教育委員会事務局長** ねんりんピック終了後、各地区の福寿会や小学校のPTA活動など、幅広い年代で手軽に楽しめる身近なスポーツとして町民に認知された。

新規事業として、ジャンボールカップ2019カロリング競技大会を開催する。

大会規模は80チームを限度とし、実行委員会を立ち上げ進めていく。



池原 純一 議員



農業実習に励む入高生

## 入善高校に依頼するジャンボ西瓜研究の狙いは がんばる農政課長 農業科で新たな栽培方法を研究



鍋嶋 慎一郎 議員

**問** 入善ジャンボ西瓜の作付面積や生産者数が減少傾向にある。新規事業の「未来へつなく入善ジャンボ西瓜」

平成23年度からの新規生産者の掘り起こしに関する既存事業に加え、新たに「入善ジャンボ西瓜作付振興事業」を始める。

これは、既存生産者が作付株数を増やした場合、一株当たり500円を助成するものである。

もう一つは「NEW農チャレンジ事業」として、入善高校農業科が入善ジャンボ西瓜の生産者と協議し、労働力の軽減やより栽培しやすい方法など、新たな栽培方法を模索す

「それ行け！結婚プロジェクト」の成果は着実に成果が表れてきている

「それ行け！結婚プロジェクト」の成果は着実に成果が表れてきている

ロジエクト」では入善高校に研究を依頼するとのことだが、その狙いはなにか。

これまでで行ってきたプロジェクトの成果は、清田結婚・子育て応援課長 これまでの4年間に、婚活パーティーや、婚活サークルといった婚活イベントを24回開催した。町内外から男性448名、女性464名、計912名もの独身男女が参加し134組のカップルが成立した。そのうち6組が結婚し、2組の夫婦にめでたく赤

「それ行け！結婚プロジェクト」の成果は着実に成果が表れてきている

「それ行け！結婚プロジェクト」の成果は着実に成果が表れてきている

最近、行方不明者の

検索が多くなってきた。ドローンを活用した検索などは考えているのか。

小路消防署長 現在、全国でもドローンは災害時などに活用されている。

昨年12月に富山県消防学校で開催された消防団員ドローン研修に、入善町消防団から4名の団員に参加してもらった。

必要な場合、消防学校が所有するドローンを借用し利用できるものとされていた。

しかし、降雨時など天候に左右されることから現在その使用に制限があり、貸し出しできないのが現状である。

町としても、新規導入あるいは災害応援協定を研究しながら、しっかりとした運用を目標として検討していきたい。



# 庁舎整備検討特別委員会

庁舎整備検討特別委員会は3月15日に第10回、22日に第11回の会議を開催した。

役場庁舎の建て替えによる耐震化の方針は、平成30年12月議会で町長が表明し、議会も特段異論はなくこれを了承した。

15日の委員会では、主要な財源となる起債事業の適用条件や建設工事着手までのタイムスケジュール、候補地の選定についての検討経過などが報告され、さまざまな観点から議論が交わされた。

## 財源として2つの有利な起債事業の併用を考えたい

庁舎を建て替えるための財源としては、交付税措置がある緊急防災・減災事業債と公共施設等適正管理推進事業債の2つの起債が適用できる。

しかし、緊急防災・減災事業債は平成33年度ま



で整備を完了しなければならぬ。また、公共施設等適正管理推進事業債は平成32年度までに実施設計に着手することが適用条件となっている。町としては、この有利な2つの事業債の併用を考えているが、タイトなスケジュールとなり時間的な余裕は無い。

特に、新たな候補地として農地を取得する場合には、農振除外や農地転用などの手続きに8〜10カ月の期間を要するため、候補地の選定を急ぐとともに基本設計、実施設計を早急に進めなければならぬ。また、起債制度の適用期間を延長するよう国へ求めていくことも必要である。

## 候補地11カ所を選定し多角度から評価

町は1月中旬、町長を委員長とし、職員で構成する新庁舎整備庁内検討委員会を設置した。

庁内検討委員会では、町の全体像における庁舎の役割を考慮し、3回にわたる協議がなされ、現在の場所を含めて、新庁舎の候補地として考えられる場所を11カ所掲げた。その候補地の中

からは、より適切な場所を絞り込んで重点的に検討するため、下表の7項目26の観点から評価を行い、3カ所に絞り込んだとの報告を受けた。

## 現在地での建替への検討は

今後はメリット・デメリットを整理して検討を進めていく。

委員会では、現在地で建て替えるとした場合のイメージ図を示してほしいと求め、22日の委員会では、それを基に議論した。

延べ床面積は現庁舎の1・2倍の約5000㎡を想定し、工事期間は少なくとも1年半から2年を要すること。

現庁舎で事務をしながらの工事が必要となるため、その間の駐車場をどう確保するのかなどが、大きな課題となる。

評価の観点	D まちづくり
	⑬ 公共施設等の集積のしやすさ ⑭ 市街地からの距離 ⑮ 今後の拡張性、発展性
A 町民の利便性	E 必要スペースの確保等
① 場所の分かりやすさ ② アクセスのしやすさ ③ 町の中心に位置しているか ④ 来庁者駐車場の確保	⑯ 用地購入の必要性 ⑰ 周辺道路の整備、改良の必要性 ⑱ 庁舎配置(レイアウト)の自由度 ⑲ 附属施設(車庫・書庫・倉庫など)整備の必要性 ⑳ 職員駐車場の確保
B 町外からの利便性	F 工事中の対応
⑤ 場所の分かりやすさ ⑥ 入善スマートインターからのアクセスのしやすさ ⑦ 車でのアクセスのしやすさ ⑧ 駅からのアクセスのしやすさ	㉑ 役場業務への支障 ㉒ 職員駐車場の確保 ㉓ 来庁舎への安全配慮
C 防災拠点としての機能性	G 周辺への影響
⑨ 津波や黒部川氾濫浸水など敷地の安全性 ⑩ 非常召集に係る職員参集のしやすさ ⑪ 町外からの物資運搬アクセスのしやすさ ⑫ 災害時の施設連携のしやすさ	㉔ 交通渋滞等への影響 ㉕ 周辺農地への影響 ㉖ 景観への影響

## 事業紹介

# 介護人材確保に向けた取組み

入善町内の介護施設では介護職員不足で、4年ほど前から40〜50床のベッドが使えないでいる。また、新たな介護サービス事業所を募集しても、職員確保にめどが立たず、ほとんど応募が無い状況が続いている。

そこで町は、介護人材の養成と確保のために5つの取組みを行っている。

## 取組みと実績

※ ●は支給額など

▼は実績（平成29年〜30年度）

### 1、介護職員初任者研修

初任者研修は、介護職として働く上で基本となる知識・技術を習得するもので、平成25年度から実施されている。町社会福祉協議会に委託しており、研修時間は延べ130時間、受講には2万5千円を必要とする。

●委託料 178万円  
▼実績 20名

### 2、介護職員就労支援

初任者研修を修了し、町内の介護サービス事業所で介護職に従事された方、または町内の介護サービス事業所に就労しながら初任者研修を修了した方を支援する。

●支援額 2万5千円（上限）  
▼実績 7名

### 3、介護職員移住定住促進奨励支援

介護職員として町内の介護サービス事業所に就業のため、

県内外から入善町に転入された方に奨励支援金を支給するもので、平成29年度から交付している。

●県外から 20万円  
県内から 10万円  
▼実績 県内1名

### 4、介護研修受講促進支援

町内の介護サービス事業所が、無資格の職員を初任者研修に派遣する際に、事業所に支援金を支給する。

●1人当たり 10万円  
▼平成30年度から実施 2名

### 5、介護職員就労定着支援

町内の介護サービス事業所に就労した人に奨励金を支給するもの。

①町内の介護サービス事業所で働く無資格者が、初任者研修を修了し、勤続1年を超えた場合に本人に奨励金を支給する。

●奨励金 10万円  
②有資格者等（介護福祉士、介護職員実務者研修修了者）が町内介護サービス事業所に就職して、1年を経過した場合に本人に奨励金を支給する。

●奨励金 10万円

▼平成30年度から施行し、31年度から交付

## 課題と期待

初任者研修では家族介護のために受講される人も多く、なかなか就労にはつながりにくいが、平成29年度から7名の実績があつた。

介護職員就労支援以降の事業は、平成29年度から順次取組まれているもので、今後、周知を進めるなかで対象者が増えることを期待したい。

とはいえ、どれも一度だけの支援なので、効果には限界がある。継続的な支援の検討が求められる。

根本的には、国が介護事業所に支払われる介護報酬を改善し、職員に働きに見合った賃金を支給できるようにするべきであろう。

入善町議会は3年前、国に対し「介護報酬の見直し・介護労働者の処遇改善と人材確保を求める意見書」を提出している。

## 編集の窓

新元号が「令和」に決まりました。「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められているそうです。

最初の元号「大化」から数えて248番目に当たります。

町では「ストップ人口減少！未来へつなぐ」―新たな一歩を踏み出す予算―をテーマに新年度予算が決まりました。

町当局には着実な予算の執行を求めるものです。

議会も町民に心を寄せ合い、新しい時代の幕開けにふさわしく、しっかりと取組んでまいります。

### 議会広報編集特別委員会

議長	佐藤 一仁
委員長	野島 浩
副委員長	中瀬 淳哉
委員	松田 俊弘
〃	五十里国明
〃	田中 伸一
〃	鍋嶋慎一郎